

松谷 明彦（まつたに あきひこ）

政策研究大学院大学名誉教授
国際都市研究学院理事長



1945年 疎開先の鳥取県で生まれる。 68歳。

略 歴

東京大学経済学部卒、東京大学大学院より博士号（工学）取得
大蔵省主計局主計官、大臣官房審議官等を歴任後、学界に転身
現在、政策研究大学院大学名誉教授、国際都市研究学院理事長
専門はマクロ経済学、社会基盤学、財政学

著 書

代表的な著書は、

「人口減少経済の新しい公式」（日本経済新聞社より出版）
経済誌「東洋経済」で2004年上半期ベスト経済書第1位に選ばれ、同年における経済書ベストセラーになった。さらに英語、中国語、韓国語に翻訳され、欧米諸国、中国、台湾、韓国でも出版されている

近著は、

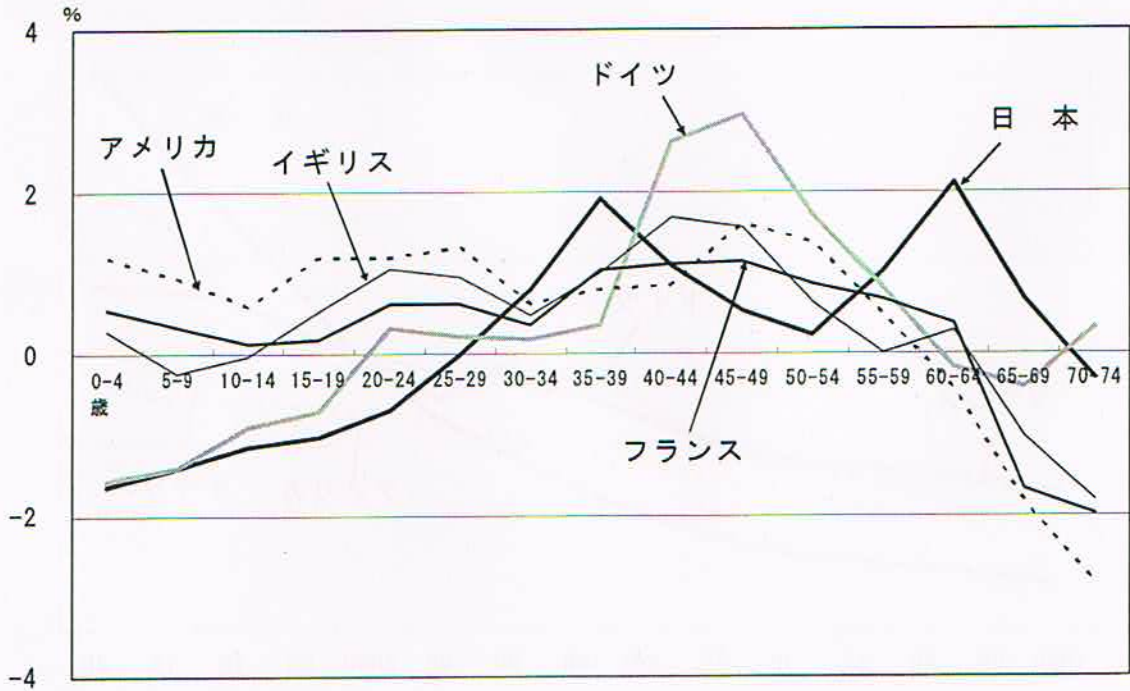
「人口減少時代の大都市経済」（東洋経済新報社）
「人口流動の地方再生学」「2020年の日本人」（日本経済新聞出版社）
「2020年の日本人」は読書週間等を主催する読書推進運動協議会から
「2008読書のすすめ20冊」に選ばれた

マスコミ

NHK「日本のこれから」「視点・論点」「ニュース・ウェブ」、
フジテレビ「報道2001」、テレビ東京「モーニングサテライト」、
「ワールドビジネスサテライト」、「ニュースファイน์」等多数出演、
新聞、雑誌等でも活躍中

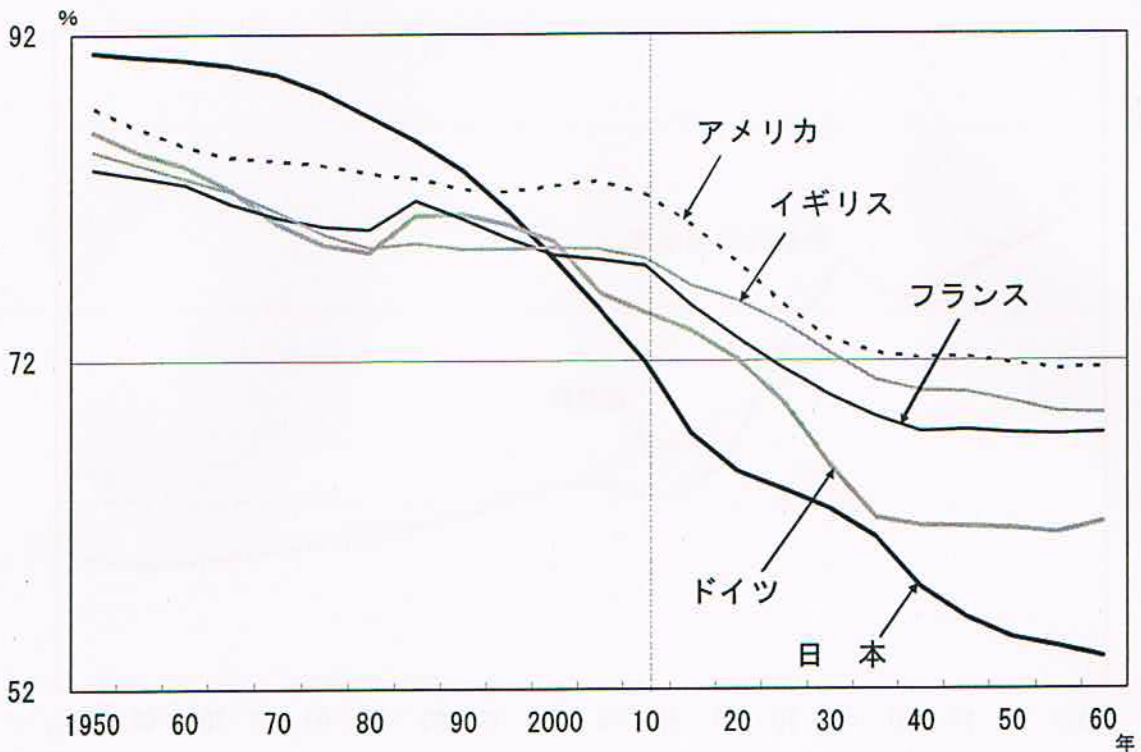
速すぎるのは「いびつな」人口構造が原因

3 主要先進国の年齢階級別人口構成（2010年）



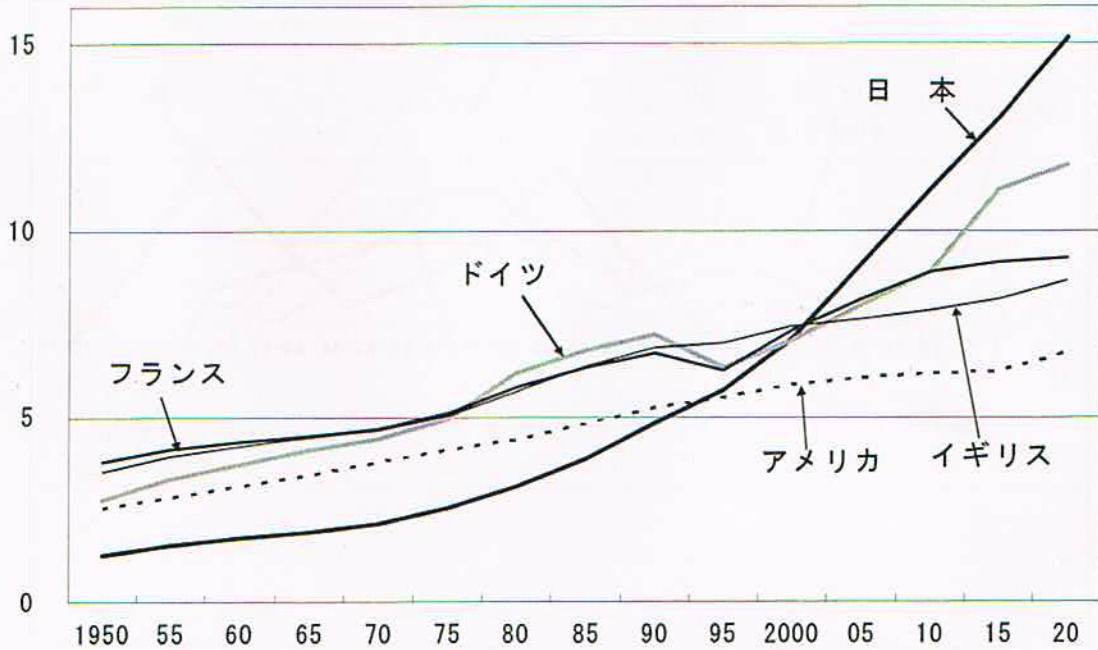
Akihiko Matsutani Ph.D.

4 20~64歳人口の20歳以上人口に占める比率の実績と予測



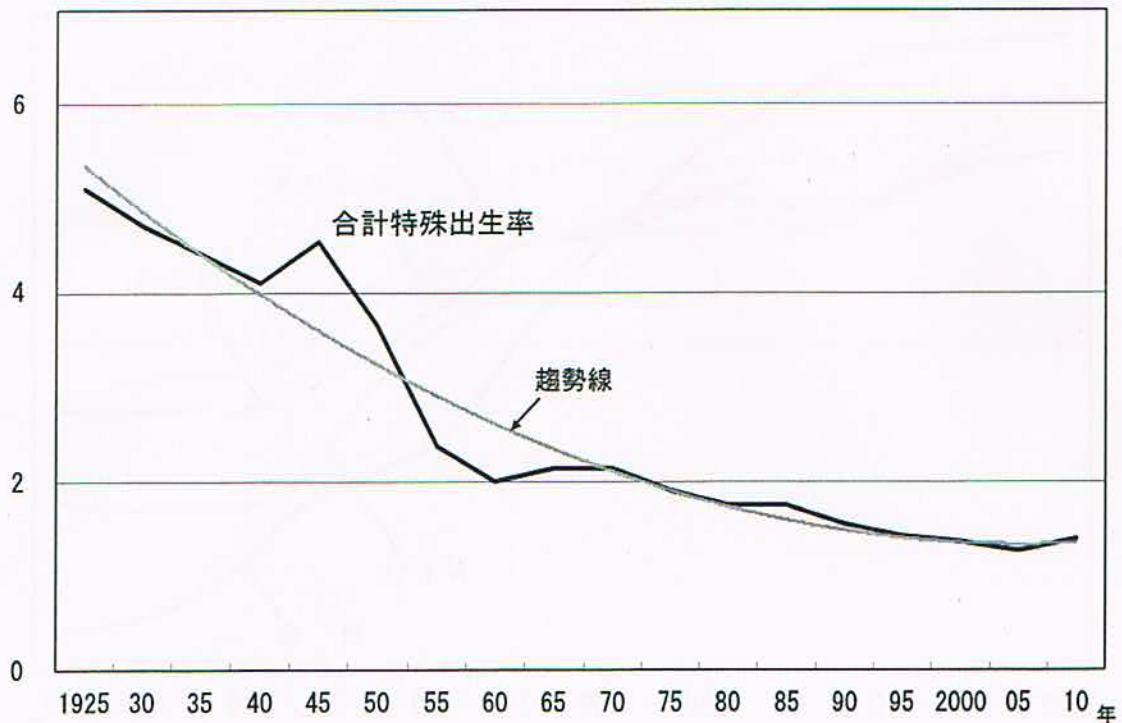
「いびつな」人口構造は政府の人口政策が原因

5 主要先進国の後期高齢者比率の実績と予測



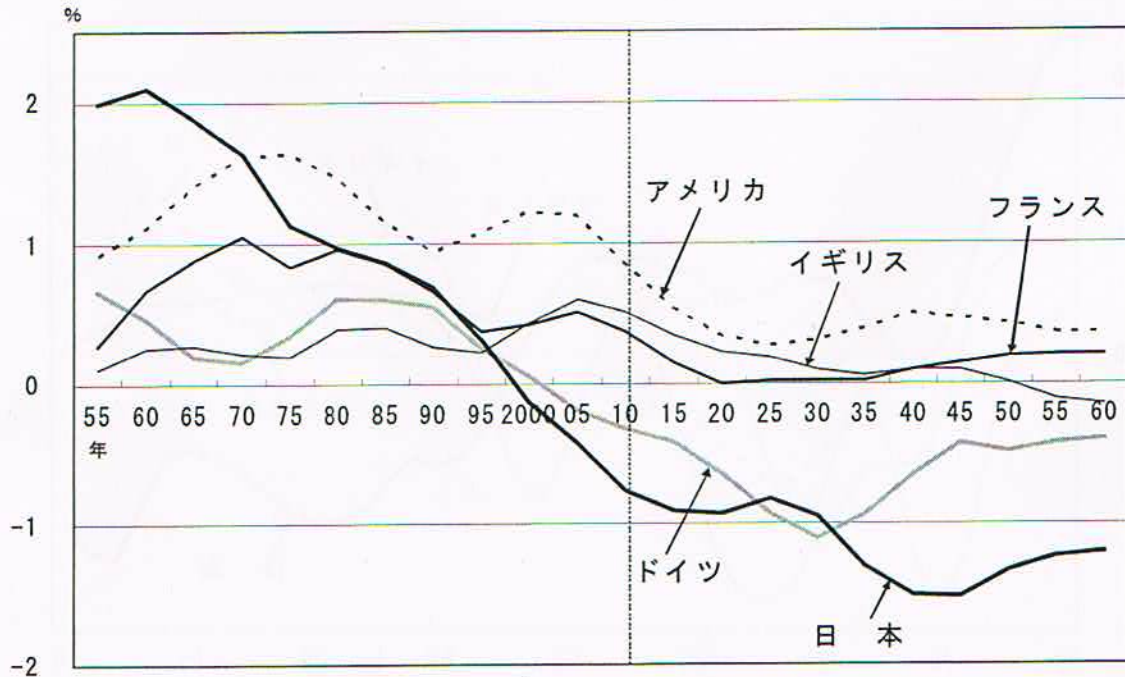
Akihiko Matsutani Ph. D.

6 日本の合計特殊出生率の推移



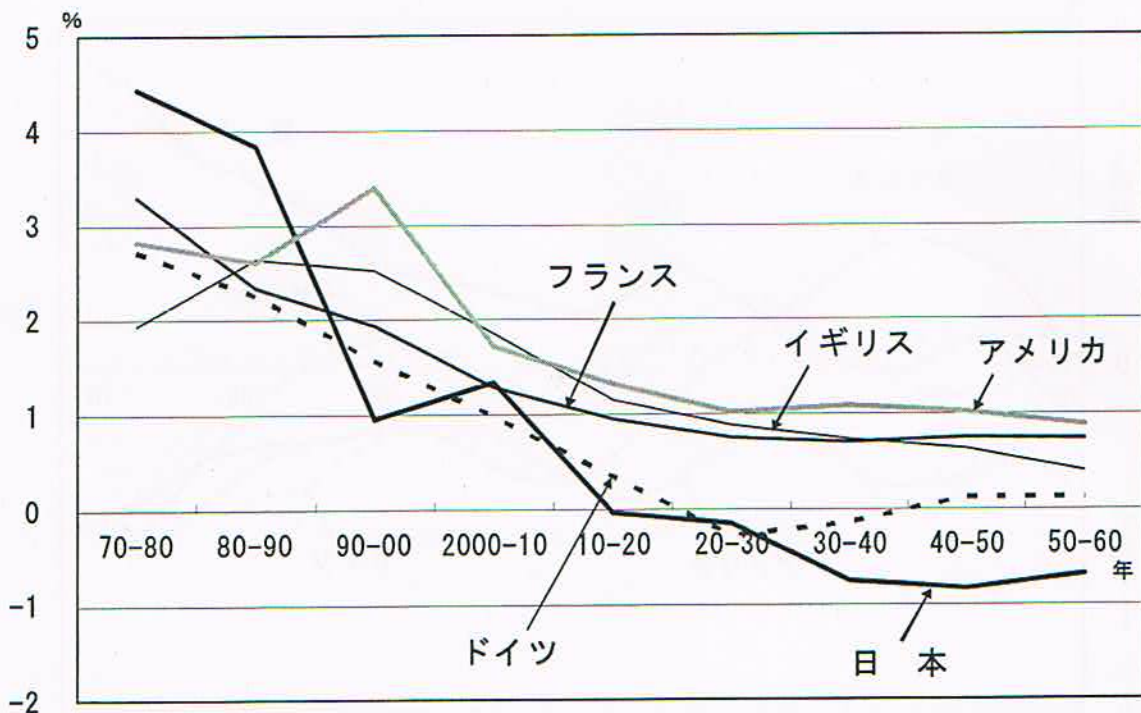
最も低い日本の経済成長率、経済が縮小するのは日本だけ

7 主要先進国の生産年齢人口増減率の実績と予測



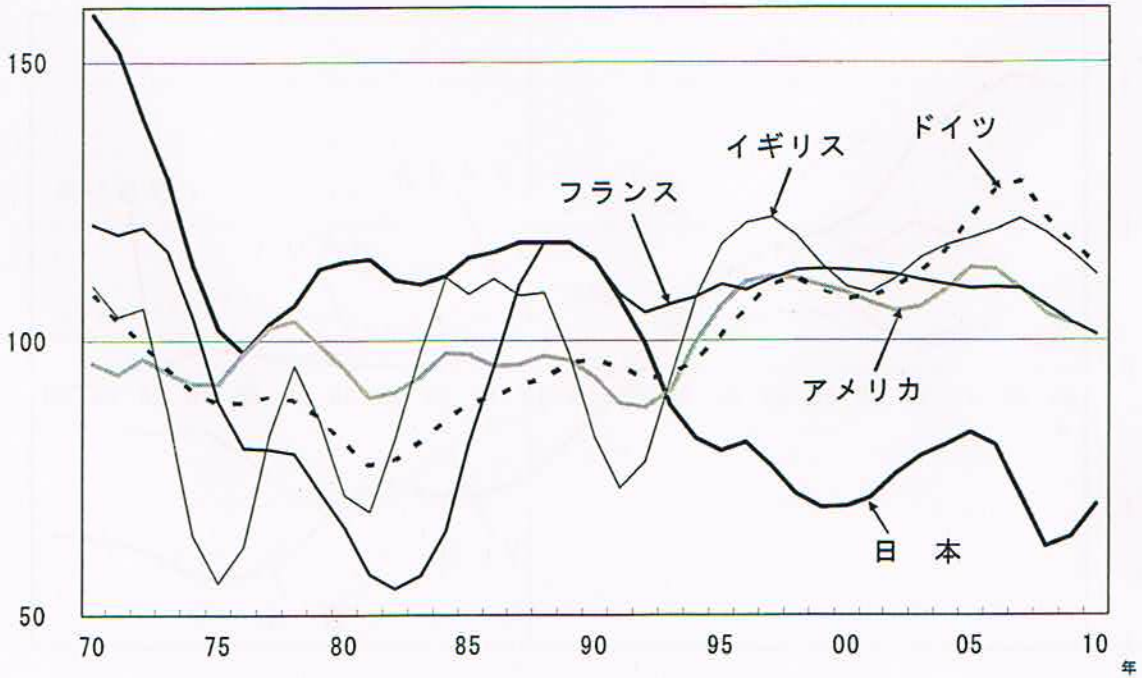
Akihiko Matsutani Ph. D.

8 主要先進国の経済成長率(実績)と自然成長率の予測



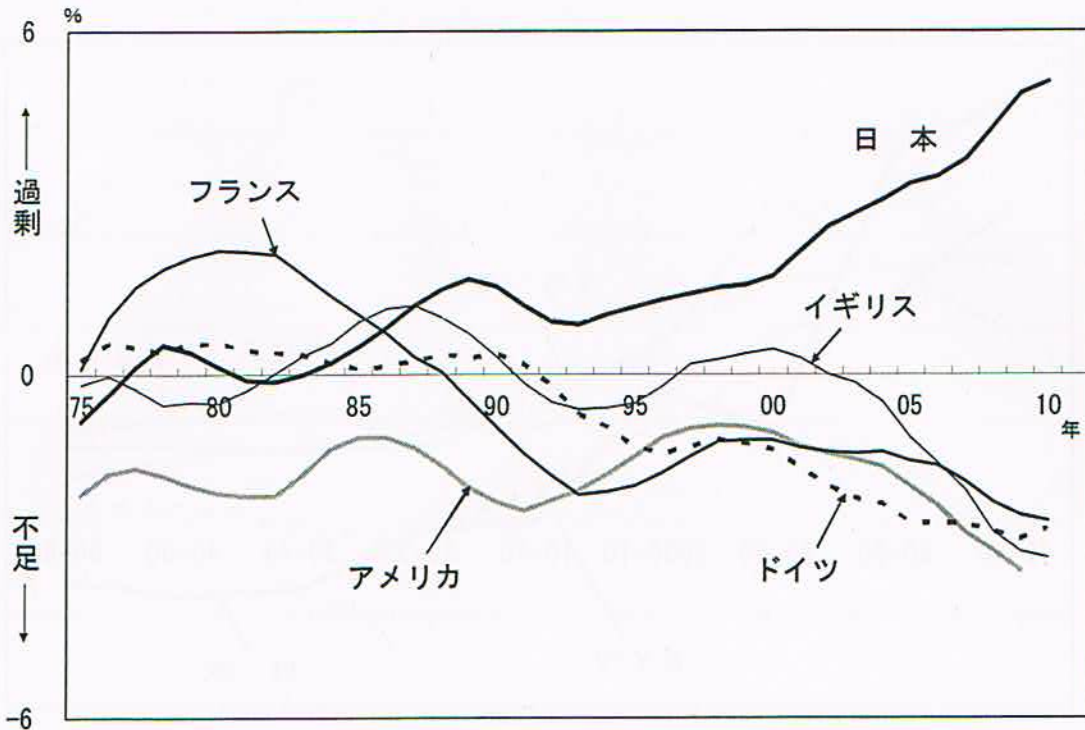
命脈尽きた日本モデル、模倣と過度の機械化が問題の根源

9 主要先進国の企業営業余剰の対GDP比の推移



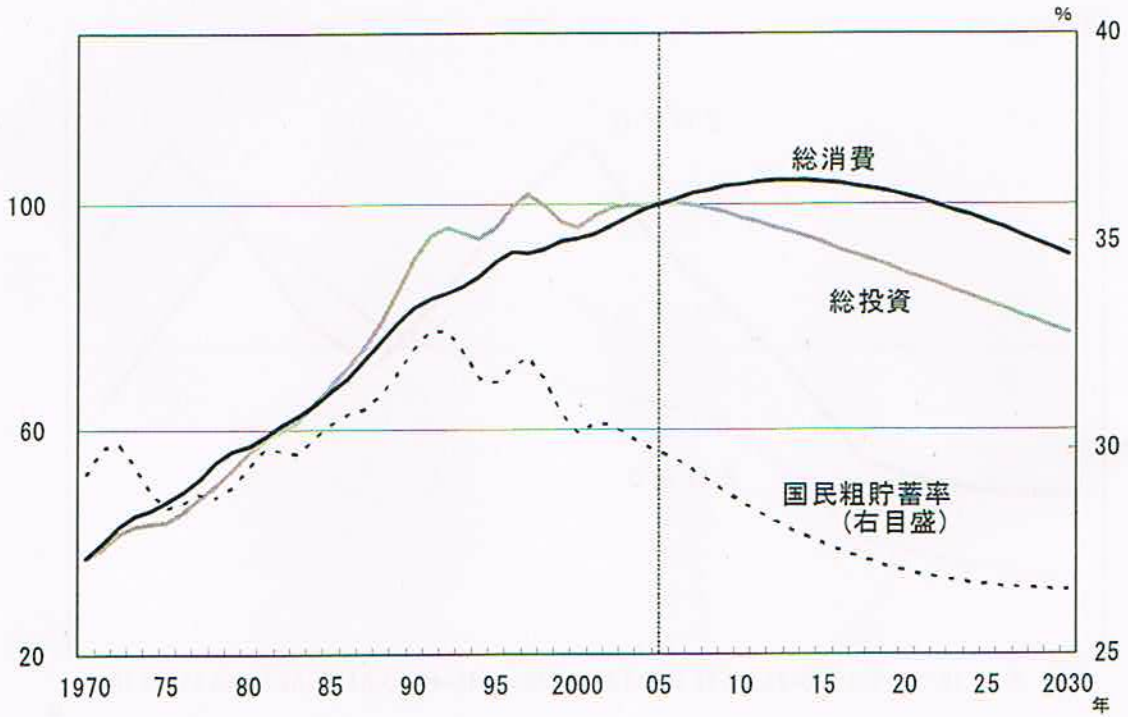
Akihiko Matsutani Ph. D.

10 主要先進国の企業設備の過不足状況



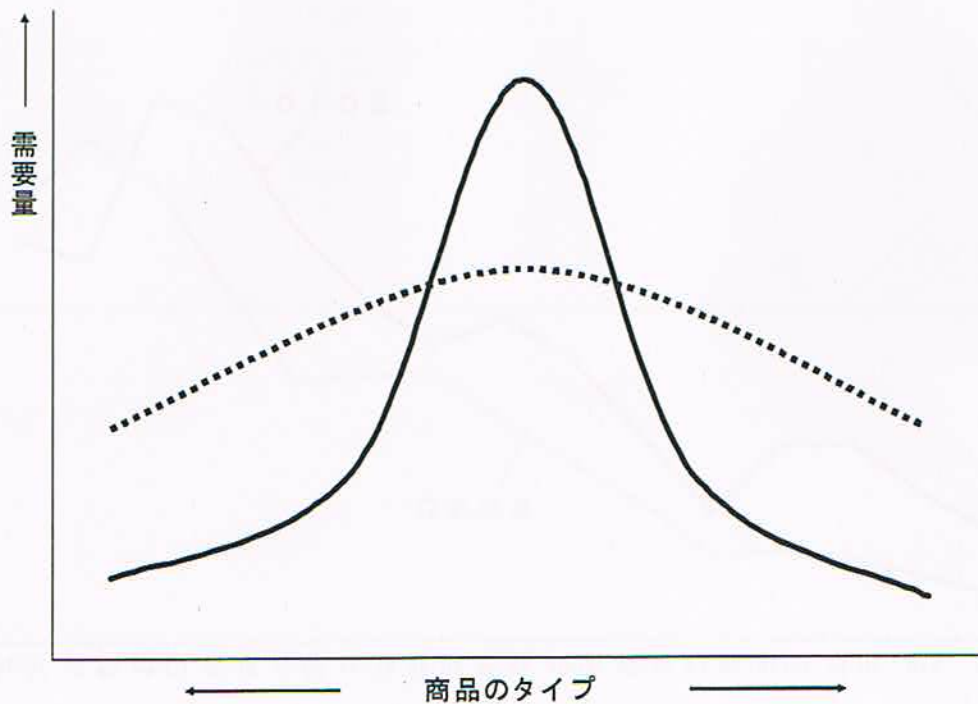
機械化も限界、投資財産業は縮小し消費需要は多様化する

1.1 総消費と総投資の実績と予測



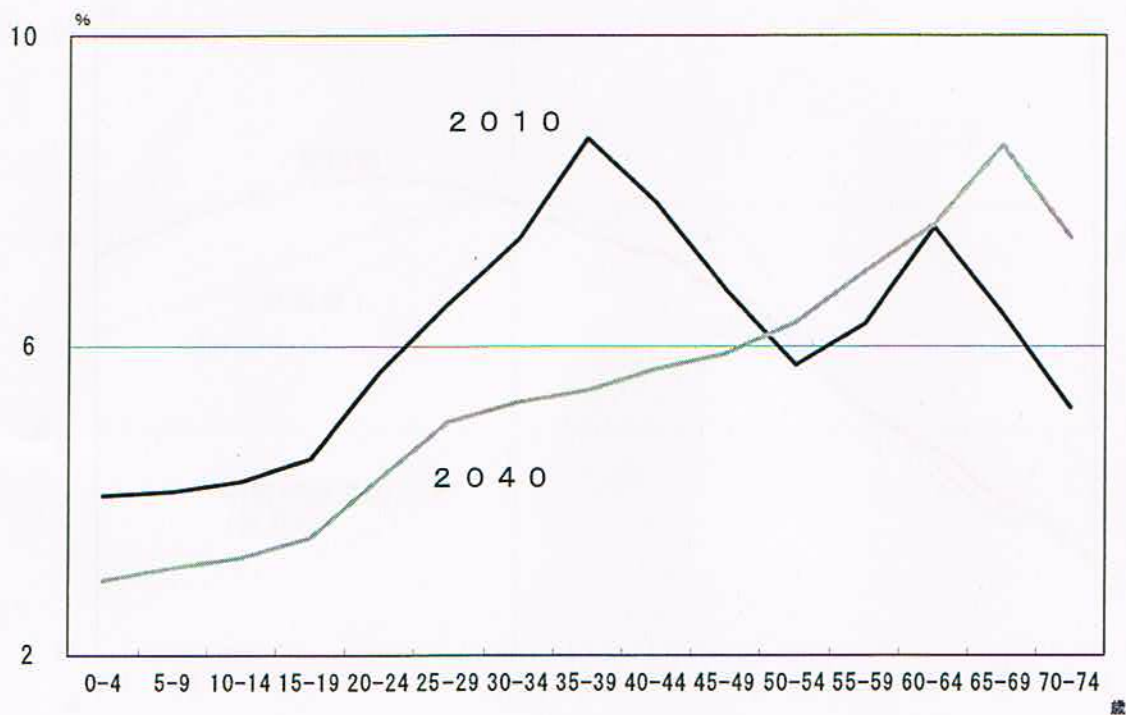
1.2 人口減少時代の消費需要の多様化

Akihiko Matsutani Ph. D.



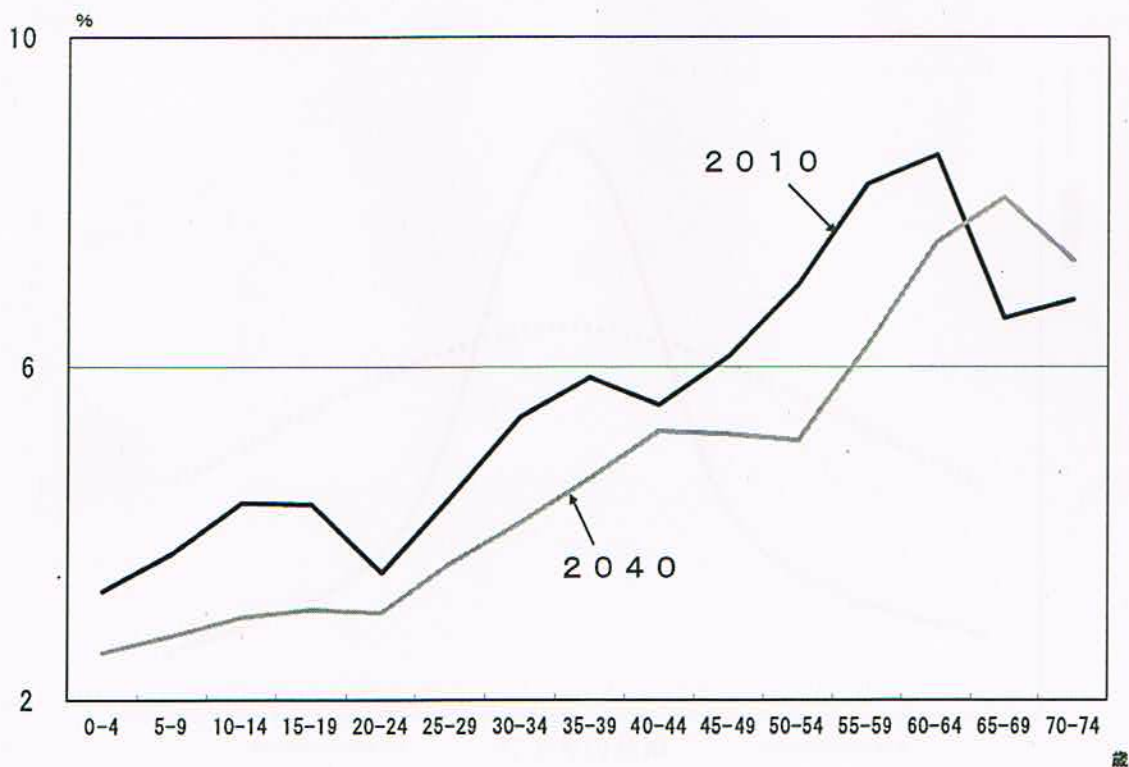
集中から分散へ、人口の流れが変わる

1 3 東京圏の年齢階級別人口構造の変化 (2010→2040 年)



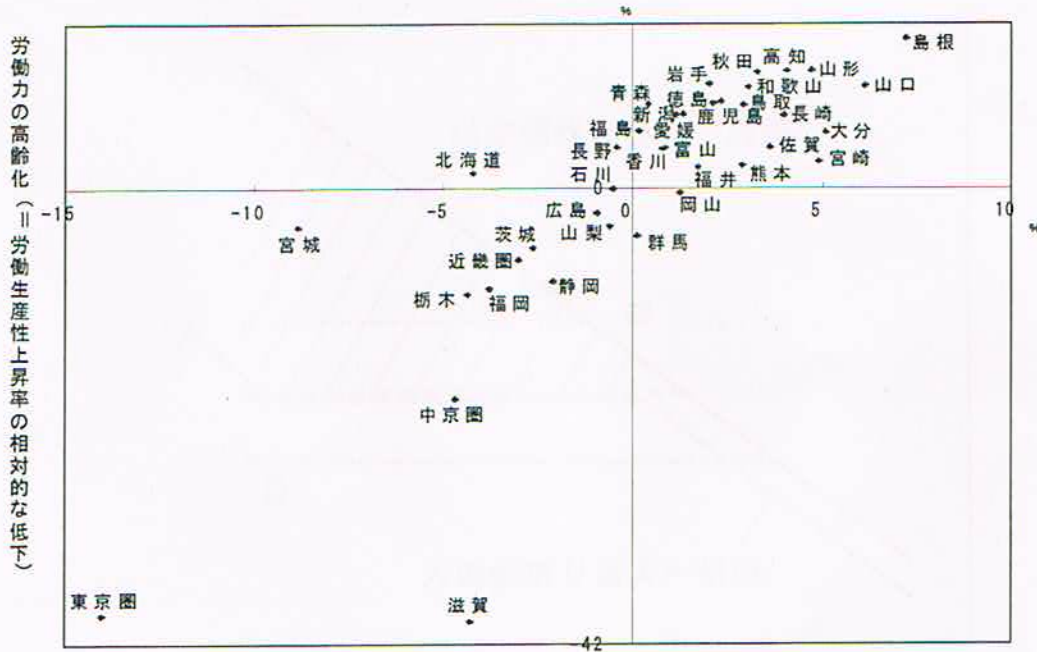
1 4 秋田県の年齢階級別人口構造の変化 (2010→2040 年)

Akihiko Matsutani Ph. D.



経済環境も財政環境も、厳しいのは大都市

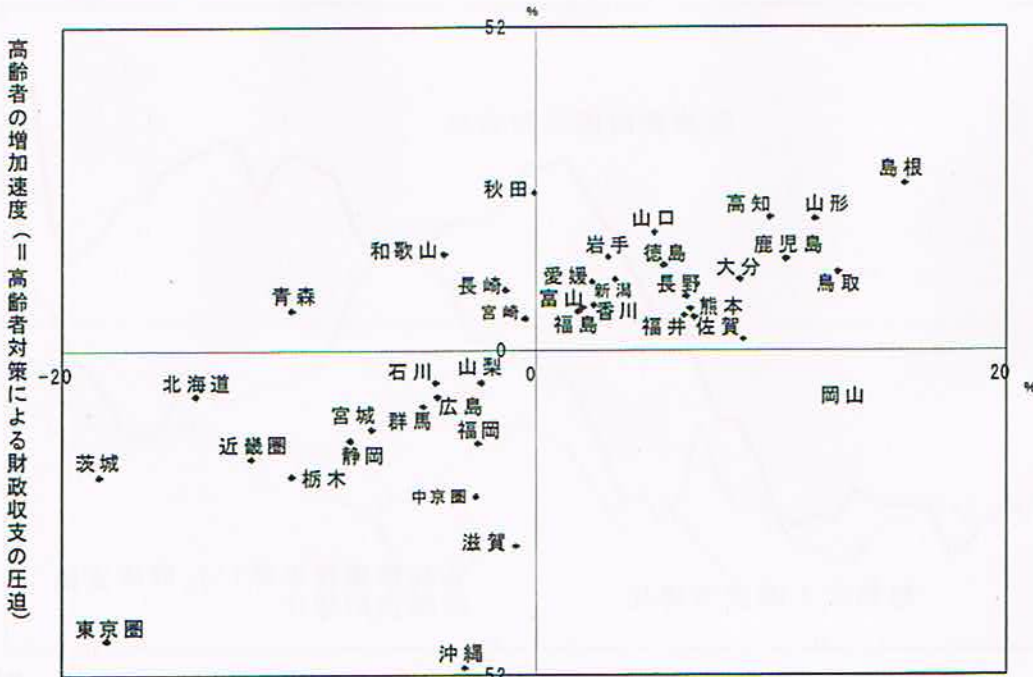
1 5 地域別経済環境



労働力率の低下（＝一人当り県民所得の相対的な低下）

Akihiko Matsutani Ph. D.

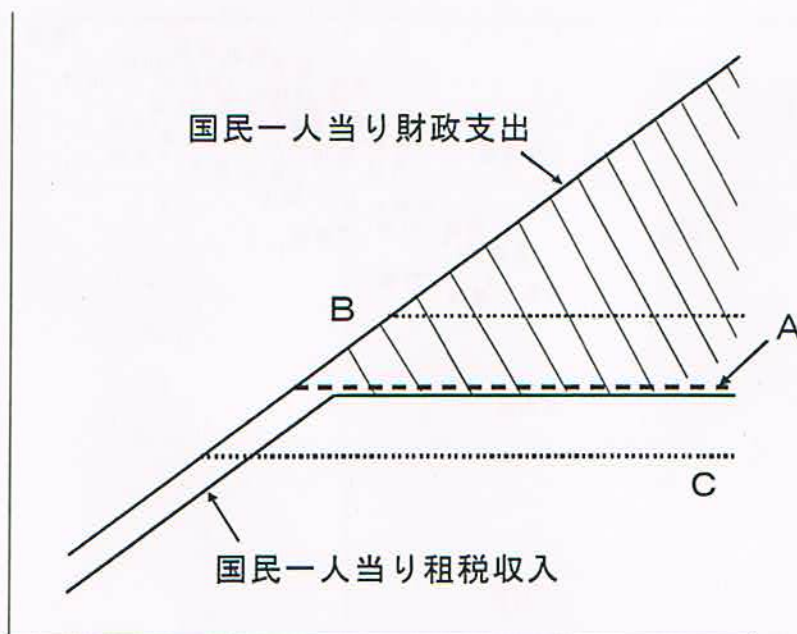
1 6 地域別財政環境



勤労世代の負担増の速度（＝経常的財政収支の困難化）

増税では財政再建は不可能、予算制度の整理統合が不可欠

17 人口減少時代の財政運営



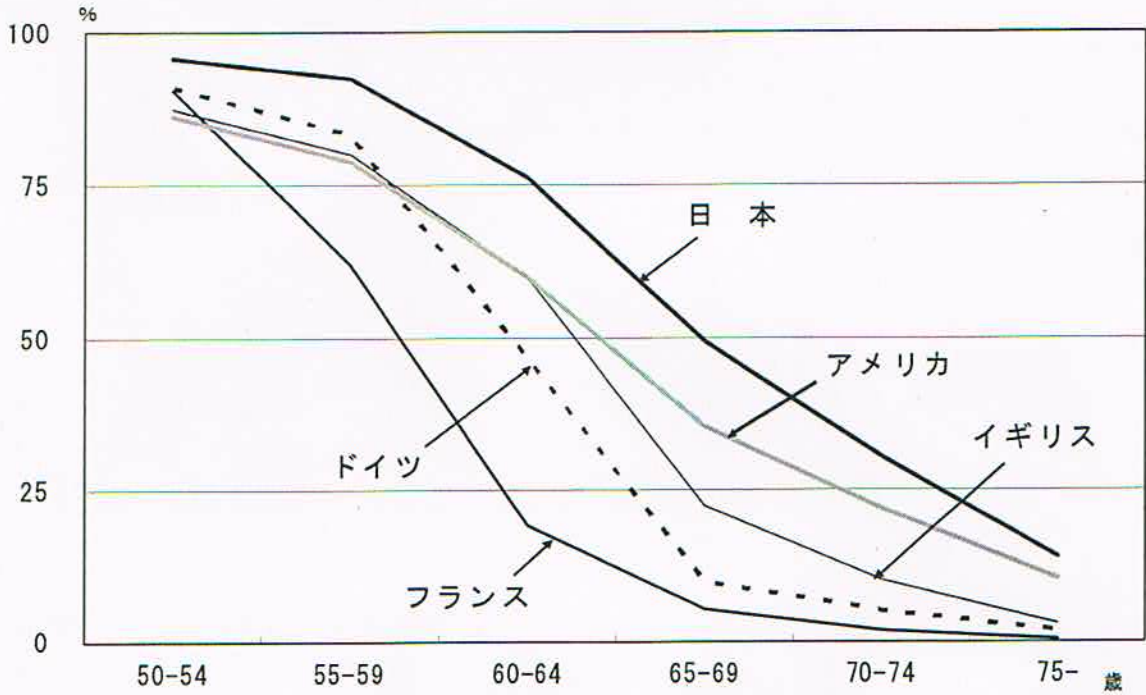
Akihiko Matsutani Ph. D.

18 財政収支の国民所得比の推移



歳をとったら働かなくて済む社会が良い社会

19 主要先進国の年齢階級別労働力率（男性）



Akihiko Matsutani Ph. D.

20 主要先進国の年齢階級別労働力率（女性）

